

モデル事業実績報告シート 記載フォーマット

(具体的な内容は、去年度の報告書「3. 各医療機関の取り組み」を参照ください)

1) 篤友会リハビリテーションクリニック

①特徴

外来と訪問のリハビリテーション（以下、リハ）を施行しているリハ科単科のクリニックである。医師は常勤医 1 名非常勤 4 名で、非常勤 1 名の除く全員がリハ科専門医である。療法士は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が計 25 名在籍し、生活期のリハを提供している。平成 25 年から大阪大学医学部附属病院疼痛医療センターと連携し、慢性疼痛の外来診療に取り組んできた。阪大疼痛センター、関西医大病院をはじめ、近隣のペインクリニックなどからも慢性疼痛患者の紹介が現在までに 62 名あった。特に、週に 1 回 1 時間の外来運動療法を 3 か月継続するプログラムは効果を認め、運動器疼痛学会、ペインリハ学会、日本リハ学会などで報告してきた。

②診療連携

合計 4 症例について、診療連携をした。以下に詳細を報告する。

・阪大病院疼痛センター

運動療法を目的として、身体症状症 1 名、HPV ワクチン接種後の痛み 1 名、慢性腰痛症 1 名の紹介を受けた。

・関西医大病院心療内科

運動療法を目的として、慢性疼痛症候群 1 名の紹介を受けた。

③研修会

実施なし

④施設訪問

調整中

⑤その他

* 偶数月の月末までに、塚本 (secretary@pain.med.osaka-u.ac.jp) にご送付ください。最初の報告シート締切は 6 月末となっております。8 月以降の報告シートは、前回送付の報告シートに追記する形でご送付ください。

* 研修会の案内状や研修会当日の資料、施設訪問の際の報告書があれば添付してください。

症例報告

○歳女性

症例報告

(以下、個人情報を含むため削除)

個人情報を含むスライドがある場合は、下記のように文言を削除してご送付ください。